開催日時：平成29年3月23日（木）15時半～16時半

開催場所：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 会議室

出席者：宝塚市医師会様、小浜自治会長様、宝塚市介護保険課担当者様、小浜地域包括支援センター管理者様、連携訪問看護ステーション管理者様

（事業所出席者）在宅サービス課課長、管理者、計画作成責任者

欠席者：民生児童委員様、ご家族様

議題内容

1、事業内容

・2月より、初の連携型(他事業所の訪問看護と24hケアステーションこはまのヘルパー利用)利用者のケアが2月より始まりました。第6回会議より、連携先訪問看護ステーション管理者様が参加されます。

・12月、1月は順調に利用者増で最高18名。現在も新規の相談や依頼はあるが、人員の都合等で入れないケースあり。

・要介護4、5の方が多かったが、現在は要介護1、2の方と半々になっている。

・世帯構成は独居だけではなく、家族と同居のケースもあるが、就労等で支援の必要な方もいる。

・終了者について

入院による終了のケースである。環境整備の必要な方であったが、認知症状がある上に、自身のこだわりも強い、独居老人の方。病状の理解が得られない事や、環境整備が整え難い状況が続き、食事や水分も十分にとれなくなった方であった。

もう一名は在宅酸素をされており、認知も進み、失禁が続き、呼吸苦(動作時)があり

ヘルパー訪問時に転倒されており主治医につなぎ、入院された。現在は、サービス付高齢者住宅に住まれている。入院中に、退院後は在宅でどう支えるかを考え、本当に在宅が利用者にとって良いものなのかをケアマネジャーや主治医も交えながら話をしたこともあった。

・利用者減少について

人員の不足により、朝や夜のニーズに応えられないこともあるのが現状であり新規が受けられない。

【質問】自治会長様より

訪問朝(5時～8時45分)とあるが、1番早い方は何時でしょうか。

→現在6:45が1番早い利用者だが、7時～8時の訪問を希望する家族が多く、定期巡回の定期訪問は、〇時～〇時の間に行くので事業所のスケジュール都合で早くなっていることもある。

・現在の利用者の区域

南ひばりに住んでいる方からの依頼があったが、緊急ショート利用となり、利用にはならなかったが、現在の利用者の区域が広く巡回訪問も難しくなっている。

【意見】ご家族様より

※欠席にあたり、事前に確認させてもらう。

保清のためにデイを増やしたいが、限度額超過利用となるため、今のサービスが適しているか悩むところである。

【質問】宝塚市医師会様より

限度額オーバーとなるために、入浴などが制限される人へのアプローチは？

→訪問時に清拭等で補うか、福祉用具レンタルを自費サービスに変え、デイを1日増やすこともある。

定期巡回は包括収入(何度訪問に行っても1ヶ月の料金は同じ)のためデイをたくさん利用することは難しい。

2、自己評価の報告

I-(2)-5

訪問介護・訪問看護の合同カンファレンスでは、体調がすぐれず入院された方のケースを行った(ヘルパーより、入院に至るまでにもっと何かできたことがあったのではないかと意見もあったため)。今年度は、訪問介護・訪問看護だけでカンファレンスを行なってきたので、来年度は他職種の方にも参加してもらい、サービスの周知・理解を深め、提供していきたいと考えている。

I-(3)-6

利用者が増えると訪問回数が増え、求人も出してはいるものの、応募が『0』の状態で厳しい。

介護士、看護師不足である。

II-1-(1)-12

メディカルケアステーションを利用して(土)(日)なども訪問看護とヘルパーが連携をし、情報共有ができています。

【意見】宝塚市医師会様より

宝塚医師会では、MCS(メディカルケアステーション)を普及し他職種同士でディスカッションしていけるようになればと考えています。

II-2-(1)-22

ヘルパーと看護師間は朝礼やMCSなどを利用して、相談や調整ができていたが、ケアマネジャーへの報告ができていなかった。その事を意識付けする事で、できるようになってきた。

【意見】宝塚市医師会様より

MCSなどにもケアマネが参加すれば報告の必要はないのでは。

利用者に関わる人がこういうツールを利用していかなければ、連携していくことは難しくなっていくと思われる。

3、外部評価・質疑応答

・訪問内容が細かくなってくると、ケア内容の失念することもある。また、ヘルパーの体調不良等でスケジュールを調整する際に、調整漏れなどで訪問忘れが起きるなどのインシデントが課題になっている。

在宅サービス課課長より

今までは訪問介護では対応できないような医療にかかってくるケースが、定期巡回では訪問看護とも連携し、ヘルパーに担ってもらえることが増えてきている。今後も、増えてくることが予想される。

連携先訪問看護ステーション管理者様より

昨日もヘルパーからの皮膚状態の申し送りなどがあり、連携というものを現在考えながら行っているところです。

自治会長様より

- ・ケアマネジャーやヘルパー等、皆でその人のことをどうしていくかを話し合うことで意見をまとめ、本人に伝えていく方が、利用者の混乱もなく良いのでは。
- ・現在の利用者の疾病はどんな方が多いのか。
→認知、高血圧などの一般的に高齢者に多い疾病である。
- ・人が入る事の受け入れはどうか。
→以前に全く受け入れてもらえないケースもあった。

4、その他

- ・4月より、人事異動、組織の変更があり、課長に代わり、副課長が参加する。
- ・4月より名称がステップ〇〇に統一となり、ステップこはま24ケアステーションに変更となる。

次回開催予定日

平成29年6月22日(木) 14:00 ~ 15:30